

くらのえみこレポート

前都議会議員
松下玲子さんに
伺いました

100mm

どうなる？築地市場 ～食の安全は守られるのか？～



武蔵野市議会議員
蔵野恵美子

蔵野 小池都知事は8月31日都庁で緊急会見を開き「11月7日に予定されていた築地市場から豊洲新市場への移転を延期する」と発表しました。その後、築地市場の豊洲移転問題は、土壌汚染対策のための盛り土が実際には行われていなかったことや地下水汚染の可能性など、連日新たな疑惑や事実が出てきており市民の方々からも不安の声が届いています。都議会で豊洲移転問題に警鐘を鳴らしてこられた前都議会議員の松下玲子さんに伺いたいと思います。

松下 私は都議会議員現職時、豊洲移転予算に反対し党から委員長職を解任されました。一度汚染された地下水は対策不可能であり市場に相応しくない、との信念のもとで反対した結果の処分でした。台所に立つ者、子を持つ母として、汚染された土地に市場を建設することは到底認められませんでした。今も変わらず、築地市場の豊洲移転に反対です。

2005年初当選直後の豊洲予定地視察時、一面に白いボールのような物があるのを一体何だろうかと疑問に思ったところ、土壌汚染対策だと都から説明がありました。この時、映画『エリン・ブロコビッチ』が頭に浮かびました。エリン・ブロコビッチは大企業相手に地下水汚染の実態と住民の健康被害の因果関係を証明した、実在するアメリカの環境活動家です。豊洲予定地も都の説明以上に土壌汚染や地下水汚染がひどいのではないかと直感し、その後詳細な調査を求めました。その結果、シアンやベンゼンなどの有害物質が多数検出され、次々に基準値を大幅に超える土壌汚染の実態が当時明らかになりました。

東京ガスの工場跡地である豊洲予定地は、卸売市場用地としては全くふさわしくありません。**いくら現代の技術を持ってしても、地下水脈は複雑であり地下水汚染には太刀打ちできないはず**です。ここに至るまで問題を放置、先送りしてきた都関係者と議会の責任は重大です。東京都は、隠すことなく事実を明らかにした上で、計画の変更も含めて誠実に対応するべきであり、私自身も今後議会でしっかりと追及できるように引き続き行動して参ります。



前都議会議員
松下玲子

～松下玲子プロフィール～

*1970(昭和45)年9月26日

名古屋生まれ

*座右の銘／ 人事を尽くして天命を待つ

*趣味／ 落語・演劇・映画・美術鑑賞

*家族／ 夫・子ども

1989年 北海道立苫小牧東高校 卒業

1993年 実践女子大学文学部

美学美術史学科卒業

サッポロビール 入社

2001年 大学院進学のため同社退職

2004年 早稲田大学大学院

経済学研究科 修了

松下政経塾 入塾

2005年 都議会議員選挙 初当選

2009年 2期目の当選

2013年 3期目に挑戦するも惜敗

100mm

97mm (内側に折り込む面)

A'

B'

C'